

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
社会福祉	1	後期	講義	2	原村 光慈

○授業の到達目標及びテーマ

これまでの社会福祉の制度や概念を理解し、これからの自分の人生において利用できる社会福祉制度やシステムを把握する。また、近年の幼児教育の無償化やコロナ対策の新たな補助金の概要を学ぶ。

○授業の概要

現代の社会福祉を学ぶ。イギリスの社会福祉の歴史を学び、これから日本の福祉がどのような方向にむかっているのかを検討する。また、介護の必要な高齢社会の現状、障害児の現状を含めて社会福祉全般の概念を理解する。現在の法体系や手当、社会保障などから、これからの日本における社会福祉・近年の教育及び保育の制度・コロナなどの特別措置法を考える。映像を通して自分の考えを深め、他の考えなどを共有し、理解を深める。他、ゲームを通して対人援助技術の基礎を確認する。

○授業計画

回数	題 目	授 業 内 容
1	現代社会と社会福祉の意義及び基本理念	社会福祉の理念・概念から、社会福祉の法体系・社会保障全般を学ぶ。また日本の構造改革における制度の内容・歴史的変遷・近年の保育教育の制度を知る。
2	イギリスにおける社会福祉の歴史	最初の社会保障として、エリザベス救貧法を学ぶ。また現代と過去のイギリスの社会保障と比較して、どのようにイギリスが国として社会保障の充実を図ったか考える。
3	社会保障及び関連制度の概要	イギリスの歴史を元に、新救貧法や、現在の日本の社会保障を把握する。また、それに関連した法制度を学ぶ。
4	社会福祉の制度と法体系	新しくなった社会福祉法の内容を理解する。各施設の特色や法人としてのあり方・組織（理事・評議員・監事など）・地域との在り方を学ぶ。
5	社会福祉のニーズ・需要・資源および社会福祉の専門職	社会福祉のニーズ・需要・資源からサービス提供のあり方を学ぶ。また教育及び保育において、保護者や子どもの視点をとらえる。
6	子ども家庭支援と社会福祉の概念・歴史・法制度	児童福祉法や学校教育法など児童に関する法体系を学ぶ。また児童に関する法体系に伴う現代の課題を検討する。
7	少子高齢化社会における子育て・子育て支援	少子社会における現状から、国や市町村の政策、児童に関する手当、子育て支援に伴う利用者（保護者）支援などを総合的に学ぶ。
8	ひとり親家庭の子育て支援・生活支援	ひとり親の家庭生活における現状を学ぶ。手当、保険、生活保護、生活支援員など生活をサポートしていく政策を考える。

9	在宅福祉・地域福祉の推進	地域福祉計画から、在宅福祉サービス、環境改善サービス、組織活動などを学ぶ。また社会福祉協議会の活動や、地域に根ざした活動を検討する。
10	社会福祉のネットワークと諸外国の動向	保育・教育・療育・保健・医療等の連携やネットワークから現代の社会福祉の構造を把握する。また諸外国の動向を学ぶ。
11	共生社会の実現と障害児(者)施策	社会保障として、障害児(者)にどのような施策が国として行われているか把握する。またその社会保障と共生社会のあり方を検討する。
12	社会福祉行財政と実施機関	実地主体の市町村として、こどもの社会保障に関する機能を理解する。また相談内容に応じて、どの窓口を訪ねればよいかを検討する。
13	利用者保護に関わる仕組み	情報提供やサービスの第三者評価、苦情解決の仕組みを考察する。また利用者の権利擁護を考える。
14	児童に関わる社会福祉施設	社会的養護の必要な児童に関わる社会福祉施設の特色を学ぶ。また里親や特別支援学校などから、子どもの生活を社会的に検討する。
15	社会福祉における相談援助	ゲームや実技を通して、相談援助技術を学ぶ。(理論・意義・機能・対象・過程・方法・技術など)

定期試験 (持ち込み不可)

授業でプリントを配りますので、ファイルに整理をしてください。

○テキスト

無

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○学生に対する評価

定期試験 70% 授業態度、講義への参加態度 30% (課題提出を含む)